

GA-M51GM-S2G

AMD ソケット AM2 プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

改版 1002



- * 製品の WEEE マークは、この製品を他の家庭ゴミと共に廃棄することを禁じ、廃棄電気電子機器のリサイクルのための指定収集場所に引き渡す必要を示しています！！
- * WEEE マークは EU 加盟国のみに適用されます。

目次

第 1 章 ハードウェアのインストール	3
1-1 取り付け前に.....	3
1-2 特長の概略	4
1-3 CPU と CPU クーラの取り付け	6
1-3-1 CPU の取り付け.....	6
1-3-2 CPU クーラの取り付け	7
1-4 メモリの取り付け	8
1-5 拡張カードのインストール	10
1-6 I/O 後部パネルの紹介	11
1-7 コネクタについて	12

第1章 ハードウェアのインストール

1-1 取り付け前に

コンピュータを用意する

マザーボードには、静電放電(ESD)により損傷を受ける、様々な精密電子回路および装置が搭載されていますので、取り付け前に、以下をよくお読みください。

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. マザーボードを取り扱う際は、金属部またはコネクタに触れないでください。
3. 電子部品(CPU、RAM)を取り扱う際は、静電防止用(ESD)ストラップを着用してください。
4. 電子部品を取り付ける前に、電子部品を静電防止パッドの上、または静電シールドコンテナ内に置いてください。
5. マザーボードから電源コネクタのプラグを抜く前に、電源が切断されていることを確認してください。

取り付け時のご注意

1. 取り付けの前に、マザーボードに貼布されているステッカーを剥がさないでください。これらのステッカーは、保証の確認に必要となります。
2. マザーボード、またはハードウェアを取り付ける前に、必ず、マニュアルをよくお読みください。
3. 製品を使用する前に、すべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
4. マザーボードへの損傷を防ぐため、ネジをマザーボード回路、またはその機器装置に接触させないでください。
5. マザーボードの上、またはコンピュータケースの中に、ねじ或いは金属部品を残さないようにしてください。
6. コンピュータを不安定な場所に置かないでください。
7. 取り付け中にコンピュータの電源を入れると、システムコンポーネントまたは人体への損傷に繋がる恐れがあります。
8. 取り付け手順や製品の使用に関する疑問がある場合は、公認のコンピュータ技師にご相談ください。

保証対象外

1. 天災地変、事故又はお客様の責任により生じた破損。
2. ユーザマニュアルに記載された注意事項に違反したことによる破損。
3. 不適切な取り付けによる破損。
4. 認定外コンポーネントの使用による破損。
5. 許容パラメータを超える使用による破損。
6. Gigabyte 製品以外の製品使用による破損。

1-2 特長の概略

CPU	◆ AMD Athlon™ 64 FX / Athlon™ 64 X2 Dual-Core / Athlon™ 64 / Sempron™ プロセッサ用 Socket AM2
フロントサイドバス (Front Side Bus)	◆ 2000MHz
チップセット	◆ ノースブリッジ : nVIDIA® GeForce 6100 ◆ サウスブリッジ : nVIDIA® nForce 430
LAN	◆ オンボード Marvell 88E1116 PHY (10/100/1000Mbit)
オーディオ	◆ ALC883 CODEC ◆ 2 / 4 / 6 / 8 チャンネルオーディオをサポート ◆ HD (High Definition)オーディオをサポート ◆ ライン入力、ライン出力(フロントスピーカー出力)、マイク、サラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)、センター/サブウーファースピーカー出力、サイドスピーカー出力の接続をサポート ◆ SPDIF 入/出力接続 ◆ CD 入力接続
IEEE 1394	◆ オンボード TI TSB43AB23 チップ ◆ 3 個の IEEE1394a ポート
ストレージ	◆ nVIDIA® nForce 430 - 1 個の FDD コネクタで、1 台の FDD デバイスに接続可能 - UDMA 33/ATA 66/ATA 100/ATA 133 機能をサポートする 2 つの IDE コネクタ(IDE1、IDE2)により、4 台の IDE デバイスが接続可能 - 4 個の SATA 3Gb/s コネクタ(SATAII0_1, SATAII2_3)で、4 台の SATA 3Gb/s デバイスが接続可能 - シリアル ATA でのデータのストライピング(RAID 0)、ミラーリング(RAID 1)、ストライピング+ミラーリング(RAID 0 + 1)または RAID 5 をサポート
O.S サポート	◆ Microsoft Windows 2000/XP
メモリ	◆ 4 DDRII DIMM メモリスロット(最大 16GB のメモリをサポート) ^(注 1) ◆ デュアルチャネル DDRII 800/667/533/400 DIMMs をサポート ◆ 1.8V DDRII DIMMs をサポート
拡張スロット	◆ 1 個の PCI エクスプレス x 16 スロット ◆ 1 個の PCI エクスプレス x 1 スロット ◆ 2 個の PCI スロット
内部コネクタ	◆ 1 個の 24 ピン ATX 電源コネクタ ◆ 1 個の 4 ピン ATX 12V 電源コネクタ ◆ 1 個のフロッピーコネクタ ◆ 2 個の IDE コネクタ ◆ 4 個の SATA 3Gb/s コネクタ ◆ 1 個の CPU ファンコネクタ ◆ 1 個のシステムファンコネクタ ◆ 1 個のフロントパネルコネクタ ◆ 1 個のフロントオーディオコネクタ ◆ 1 個の CD 入力コネクタ ◆ 2 個の USB 2.0/1.1 コネクタにより、ケーブル経由で 4 USB 2.0/1.1 ポート追加可能 ◆ 2 個の IEEE1394a コネクタにより、ケーブル経由で 2 ポート追加可能

	◆ 1 個の SPDIF 入/出力コネクタ ◆ 1 個の電源 LED コネクタ ◆ 1 個の COMB コネクタ
リアパネル I/O	◆ 1 個の PS/2 キーボードポート ◆ 1 個の PS/2 マウスポート ◆ 1 個のバラレルポート ◆ 1 個の COMA ポート ◆ 1 個の VGA ポート ◆ 4 個の USB 2.0/1.1 ポート ◆ 1 個の IEEE1394 ポート ◆ 1 個の RJ-45 ポート ◆ 6 個のオーディオジャック(ライン入力/ライン出力/MIC 入力/サラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)/センター/サブウーファースピーカー出力/サイドスピーカー出力)
I/O コントロール	◆ IT8716 チップ
ハードウェアモニ タ	◆ システム電圧検出 ◆ CPU/システム温度検出 ◆ CPU/システムファン速度検出 ◆ CPU 温度警告 ◆ CPU/システムファン故障警告 ◆ CPU/システムスマートファン機能をサポート(注 2)
BIOS	◆ 1 個の 4M ビットフラッシュ ROM ◆ ライセンス済み AWARD BIOS の使用
その他の機能	◆ @BIOS をサポート ◆ ダウンロードセンターをサポート ◆ Q-Flash をサポート ◆ EasyTune (ハードウェアモニタ機能のみ)をサポート(注 3) ◆ Xpress Install をサポート ◆ Xpress Recovery2 をサポート ◆ Xpress BIOS Rescue をサポート
バンドルされたソ フトウェア	◆ Norton Internet Security (OEM バージョン)
フォームファクター	◆ Micro ATX フォームファクタ; 24.4cm x 24.4cm

(注 1) Windows 32 ビット OS には制限があるため、4GB 以上の物理メモリを取り付けても、OS 用で実際のメモリは 4GB 以下しか使用可能ではありません。一方 Windows 64 ビット OS はこのような制限がありません。

(注 2) CPU スマートファンコントロール機能がサポートされているかは、取り付けられた CPU によります。

(注 3) EasyTune 機能はマザーボード毎に異なる場合があります。

1-3 CPU と CPU クーラの取り付け



CPU を取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1. マザーボードが CPU をサポートすることを確認してください。
2. CPU のピン 1 表示(金の三角マーク)があるピン 1 を CPU ソケットに合わせてください。CPU をソケットに慎重で静かに挿入してください。
3. CPU と CPU クーラの間にヒートペーストを均等に塗布してください。
4. CPU のオーバーヒートおよび永久的損傷が生じないように、システムを使用する前に、CPU クーラが CPU に適切に取り付けられていることを確認してください。
5. プロセッサ仕様に従い、CPU ホスト周波数を設定してください。周辺機器の標準規格に適合しないため、システムバス周波数をハードウェア仕様以上に設定しないことをお勧めします。仕様以上に周波数を設定する場合は、CPU、グラフィックスカード、メモリ、ハードドライブ等を含むハードウェア仕様に従って設定してください。

1-3-1 CPU の取り付け

CPU のピンがいつも曲がっていないことをご確認ください。CPU の装着前に、図 1 にあるようにソケットレバーをロック解除位置に移動します(マザーボードの面に対して 90°)。ピン 1 の位置は CPU に小さな三角マークで表示されています。この三角マークは図 2 に見られるソケットの三角マークに対応しています。CPU をソケットに合わせて静かに差し込みます。CPU を無理にソケットに押し込まないでください。

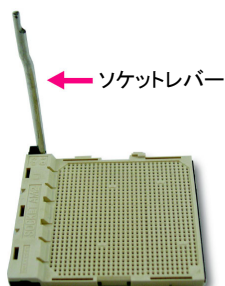


図 1

レバーを 90 度角に配置します。



図 2

ソケットおよびプロセッサのピン 1 位置。

CPU を配置位置に静かに押し付け、CPU ピンが穴に完全に装着されていることを確認します。CPU がソケットに装着された後、CPU 中央に指を一本押し付けながら、金属レバーを元の位置に静かに戻してください。

ピン 1



CPU 取り付け時には細心の注意を払ってください。配置が正しくない場合、CPU を取り付けることは出来ません。力任せではなく、CPU 位置を変更してください。

1-3-2 CPU クーラの取り付け



図 1

CPU クーラ取り付け前に、CPU 表面にヒートペーストを均一に塗布します。すべての CPU クーラ部品を取り付けてください(取り付け方法の詳細はヒートシンクのマニュアルを参照してください)。

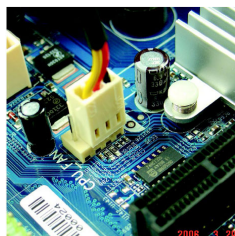


図 2

CPU クーラの電源コネクタをマザーボード上の CPU_FAN コネクタに接続し、CPU クーラを正常に動作させ、CPU の過熱を防止します。



ヒートペーストの硬化により、CPU クーラが CPU に付着する場合があります。付着を防止するには、ヒートペーストの代わりにサーマルテープを使用し、熱を発散させるか、または CPU クーラを取外す際は慎重に行ってください。

1-4 メモリの取り付け



メモリモジュールを取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のメモリがマザーボードにサポートされているかどうかを確認してください。同様の容量、仕様、および銘柄のメモリをご使用することをお勧めします。
2. ハードウェアへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの取り付け/取り外し前に、コンピュータの電源を切ってください。
3. メモリモジュールは、きわめて簡単な挿入設計となっています。メモリモジュールは、一方向のみに取り付けることができます。モジュールを挿入できない場合は、方向を換えて挿入してください。

マザーボードは、DDR II メモリモジュールをサポートし、BIOS は自動的にメモリ容量と仕様を検出します。メモリモジュールは、一方向のみに挿入するように設計されています。各スロットには異なる容量のメモリを使用できます。

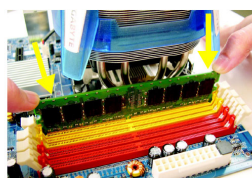
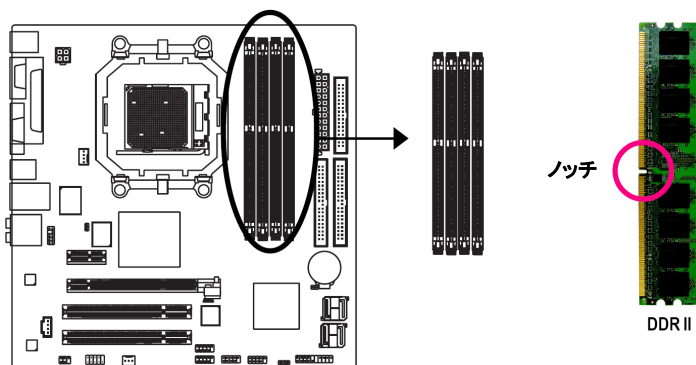


図 1

DIMM ソケットにはノッチがあり、DIMM メモリモジュールは一方向のみに挿入できるようになっています。DIMM メモリモジュールを DIMM ソケットに垂直に挿入し、押し下げてください。

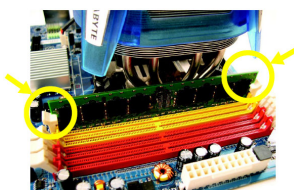


図 2

DIMM ソケットの両側にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMM モジュールを固定します。DIMM モジュールを取り外すにはインストールと逆の手順で行います。



デュアルチャンネルメモリ構成

GA-M51GM-S2G はデュアルチャンネルテクノロジーをサポートしています。デュアルチャンネルテクノロジーを使用すると、メモリバスのバンド幅は倍増されます。

CPU制限により、デュアルチャンネルテクノロジーを実行する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

1. インストールされているメモリモジュールが1つのみの場合は、デュアルチャンネルモードは使用することはできません。
2. 2つのメモリモジュール(同一ブランド、サイズ、チップおよび速度のメモリモジュールの使用を推奨)でデュアルチャンネルモードを使用する場合は、それらを同色の DIMM ソケットにインストールする必要があります。
3. 4つのメモリモジュールでデュアルチャンネルモードを使用する場合も、同一ブランド、サイズ、チップおよび速度のメモリモジュールの使用をお勧めします。

以下は、デュアルチャンネルメモリ構成のテーブルを示します：

(DS: 両面実装、SS: 片面実装、“--”: なし)

	DDR II 1	DDR II 2	DDR II 3	DDR II 4
2枚のメモリモジュール	DS/SS	DS/SS	--	--
	--	--	DS/SS	DS/SS
4枚のメモリモジュール	DS/SS	DS/SS	DS/SS	DS/SS



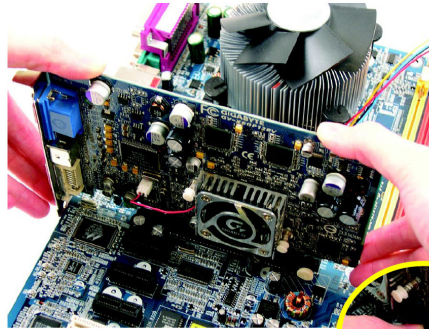
2つのメモリモジュールでデュアルチャンネルモードを実行する場合は、それらを DDRII 1 および DDRII 2 DIMM ソケットにインストールすることをお勧めします。

1-5 拡張カードのインストール

以下の手順に従い、拡張カードを取り付けてください。

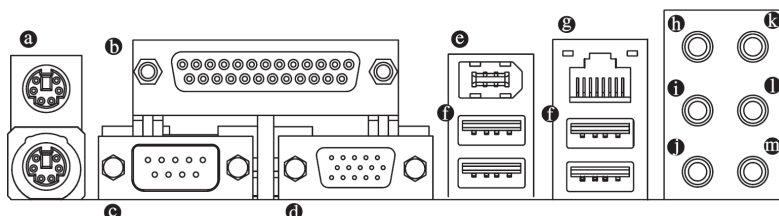
1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
2. コンピュータからケースカバー、固定用ネジ、スロットブラケットを外します。
3. マザーボードの拡張スロットに拡張カードを確実に差しします。
4. カードの金属接点面がスロットに確実に収まったことを確認してください。
5. スロットブラケットのネジを戻して、拡張カードを固定します。
6. コンピュータのシャーシカバーを戻します。
7. コンピュータの電源をオンにします。必要であれば BIOS セットアップから拡張カード対象の BIOS 設定を行います。
8. オペレーティングシステムから関連のドライバをインストールします。

PCI エクスプレス x 16 拡張カードを取り付ける：



PCIカードの装着/取り外し時には、エクスプレス x 16 スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意深く引いてください。VGA カードをオンボード PCI エクスプレス x 16 スロットにそろえ、スロットに確実に押し込んでください。ご使用になる VGA カードが小さな白いバーによってロックされたことを確認してください。

1-6 I/O 後部パネルの紹介



a PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ

PS/2 ポートキーボードとマウスを接続するには、マウスを上部ポート(緑色)に、キーボードを下部ポート(紫色)に差し込んでください。

b パラレルポート

パラレルポートは、プリンタ、スキャナ、および他の周辺装置に接続することができます。

c COM A (シリアルポート)

シリアルベースのマウス、またはデータ処理デバイスに接続します。

d VGA ポート

モニタを VGA ポートに接続します。

e 1394 コネクタ

電気電子学会で制定されたシリアルインタフェース規格で、高速転送、広帯域、およびホットプラグを特徴としています。

f USB ポート

USB コネクタに USB キーボード、マウス、スキャナー、zip、スピーカーなどを接続する前に、ご使用になるデバイスが標準の USB インタフェースを装備していることをご確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしていることもご確認ください。ご使用の OS が USB コントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに利用可能なパッチやドライバの更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイスのベンダーにお問い合わせください。

g LAN ポート

インターネット接続は、Gigabit イーサネットであり、10/100/1000Mbps のデータ転送速度が提供されます。

h センター/サブウーファースピーカー出力

デフォルトのセンター/サブウーファースピーカー出力ジャックです。センター/サブウーファースピーカーをセンター/サブウーファースピーカー出力ジャックに接続できます。

i サラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)

デフォルトのサラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)ジャックです。リアサラウンドスピーカーをサラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)ジャックに接続できます。

⑩ サイドスピーカー出力

デフォルトのサイドスピーカー出力ジャックです。サラウンドサイドスピーカーをサイドスピーカー出力ジャックに接続できます。

⑪ ライン入力

デフォルトのライン入力ジャックです。CD-ROM、walkman などのデバイスをライン入力ジャックに接続できます。

⑫ ライン出力(フロントスピーカー出力)

デフォルトのライン出力(フロントスピーカー出力)ジャックです。ステレオスピーカー、イヤホン、フロントサラウンドスピーカーをライン出力(フロントスピーカー出力)ジャックに接続できます。

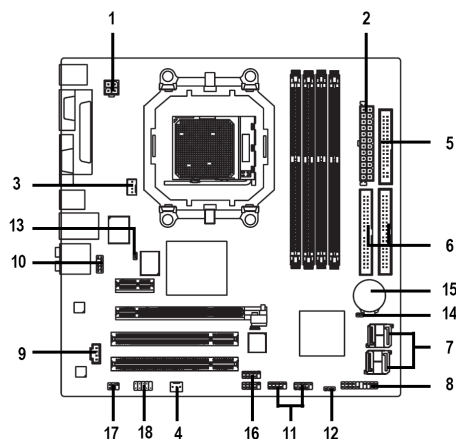
⑬ マイク入力

デフォルトのマイク入力ジャックです。マイクロフォンはマイク入力ジャックに接続します。



デフォルトのスピーカー設定に加え、⑩ ~ ⑬ オーディオジャックにはオーディオソフトウェアを通じて異なる機能を再設定できます。但しマイクロフォンだけはデフォルトのマイク入力ジャック(⑬)に接続する必要があります。ソフトウェア設定の詳細については、2-/4-/6-/8-チャンネルオーディオセットアップのステップを参照ください。

1-7 コネクタについて



1) ATX_12V	10) F_AUDIO
2) ATX (Power Connector)	11) F_USB1 / F_USB2
3) CPU_FAN	12) POWER_LED
4) SYS_FAN	13) CI
5) FDD	14) CLR_CMOS
6) IDE1 / IDE2	15) BATTERY
7) SATAII0_1 / SATAII2_3	16) F1_1394 / F2_1394
8) F_PANEL	17) SPDIF_IO
9) CD_IN	18) COMB

1/2) ATX_12V / ATX (電源コネクタ)

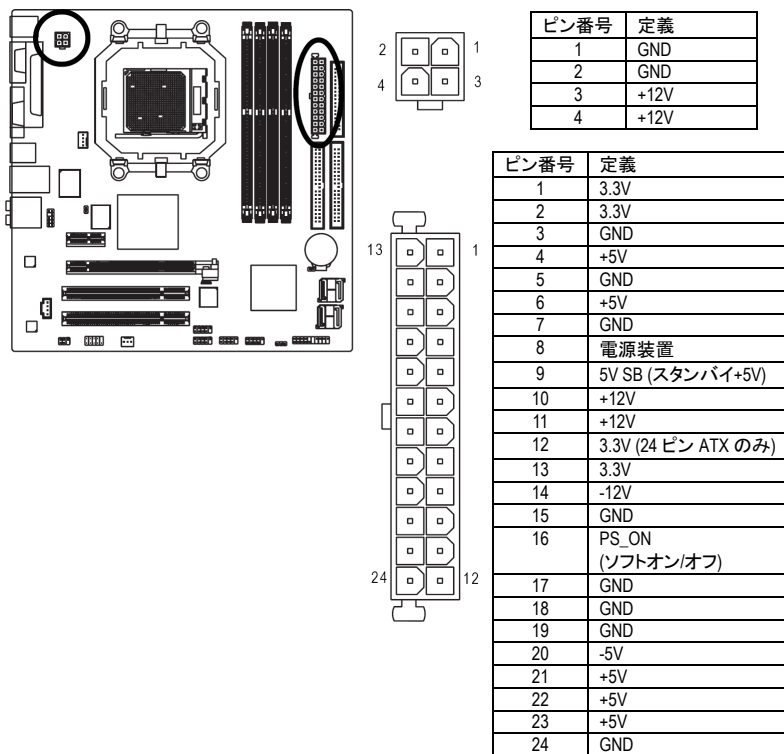
電源コネクタの使用により、安定した十分な電力をマザーボードのすべてのコンポーネントに供給することができます。電源コネクタを接続する前に、すべてのコンポーネントとデバイスが適切に取り付けられていることを確認してください。電源コネクタをマザーボードにしっかり接続してください。

ATX_12V 電源コネクタは、主に CPU に電源を供給します。ATX_12V 電源コネクタが適切に接続されていない場合、システムは作動しません。

注意！

システムの電圧規格に適合するパワーサプライを使用してください。高電力消費(300W 以上)に耐え得る電源をご使用することをお勧めします。必要な電力を提供できないパワーサプライを使用される場合、結果として不安定なシステムまたは起動ができないシステムになります。

24 ピン ATX 電源を使用する場合、電源コネクタ上のカバーを取り外し電源コードを接続してください。それ以外の使用時はカバーをはずさないでください。

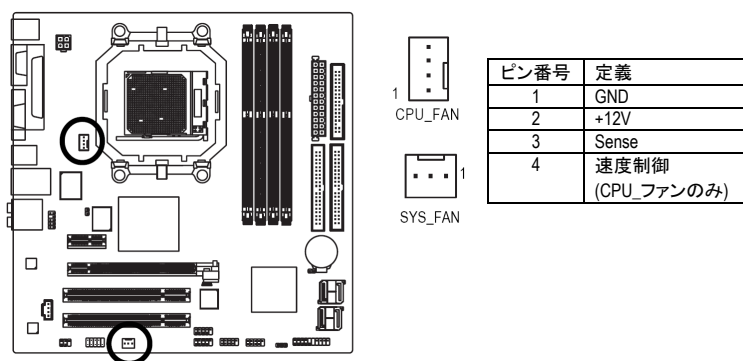


3/4) CPU_FAN / SYS_FAN (クーラーファン電源コネクタ)

クーラーファン電源コネクタは、3ピン/4ピン(CPU ファン専用)電源コネクタ経由で+12V 電圧を供給し、接続が誰でも簡単にできるよう設計されています。

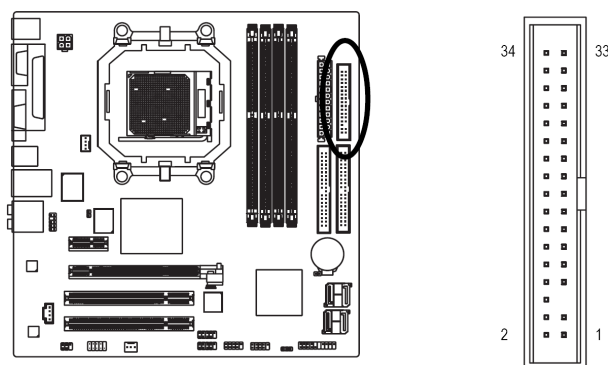
ほとんどのクーラーには、色分けされた電源コネクタワイヤが装備されています。赤色電源コネクタワイヤは、正極の接続を示し、+12V 電圧を必要とします。黒色コネクタワイヤは、アース線(GND)です。

CPU/システムのファンケーブルを CPU_FAN/SYS_FAN コネクタに接続し、CPU がダメージを受けたりオーバーヒートによるシステムクラッシュを防ぎます。



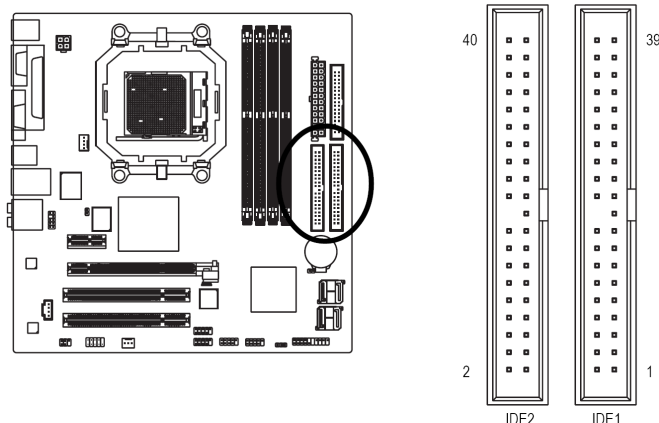
5) FDD (FDD コネクタ)

FDD コネクタは、FDD ケーブルの接続に使用し、もう一端は FDD ドライブに接続します。対応する FDD ドライブの種類は以下の通りです: 360KB、720KB、1.2MB、1.44MB、および 2.88MB。FDD ケーブルを取り付ける前に、FDD コネクタのフルプルーフ設計にご注意ください。



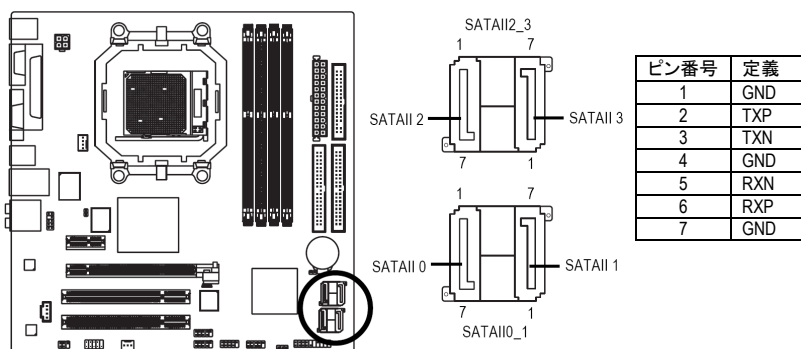
6) IDE1 / IDE2 (IDE コネクタ)

IDE デバイスは IDE コネクタによりコンピュータに接続します。1 つの IDE コネクタには 1 本の IDE ケーブルを接続でき、1 本の IDE ケーブルは 2 台の IDE デバイス(ハードドライブや光学式ドライブ)に接続できます。2 台の IDE デバイスを接続する場合は、一方の IDE デバイスのジャンパをマスターに、もう一方をスレーブに設定します(設定の情報は、IDE デバイスの指示を参照ください)。IDE ケーブルを取り付ける前に、IDE コネクタのフルプルフ設計にご注意ください。



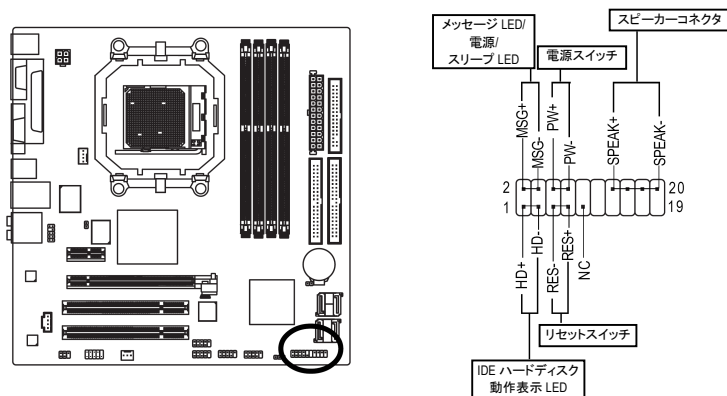
7) SATAII0_1 / SATAII2_3 (SATA 3Gb/s コネクタ、nForce 430 によりコントロール)

SATA 3Gb/s は、最大 300MB/秒の転送速度を提供することができます。正しく動作させるため、シリアル ATA の BIOS 設定を参照し、適切なドライバをインストールしてください。



8) F_PANEL (フロントパネルジャンパ)

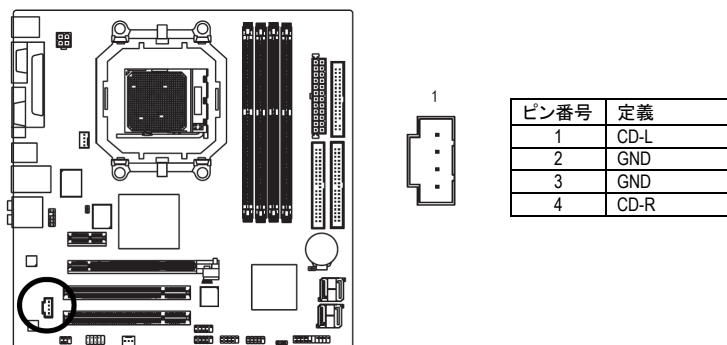
ご使用のケースのフロントパネルにある電源 LED、PC スピーカー、リセットスイッチおよび電源スイッチなどを以下のピン配列にしたがって、F_PANEL に接続します。



HD (IDE ハードディスク動作表示 LED)	ピン 1: LED 正極(+) ピン 2: LED 負極(-)
SPEAK (スピーカーコネクタ)	ピン 1: 電源 ピン 2-ピン 3: NC ピン 4: Data (-)
RES (リセットスイッチ)	オープン: 通常 ショート: ハードウェアシステムのリセット
PW (電源スイッチ)	オープン: 通常 ショート: 電源オン/オフ
MSG (メッセージ LED/電源/スリープ LED)	ピン 1: LED 正極(+) ピン 2: LED 負極(-)
NC	NC

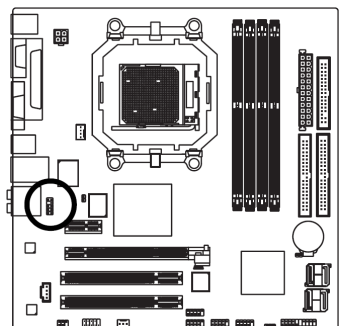
9) CD_IN (CD 入力コネクタ)

CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。



10) F_AUDIO (フロントオーディオパネルコネクタ)

このコネクタは HD (High Definition) または AC97 フロントパネルオーディオモジュールに対応しています。フロントオーディオ機能を使用したい場合、フロントオーディオモジュールをこのコネクタに接続してください。フロントパネルオーディオモジュールの接続時には、ピン配置をよく確認してください。モジュールとコネクタ間での誤った接続はオーディオデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプションのフロントパネルオーディオモジュールについては、シャーシの製造業者にお問い合わせください。

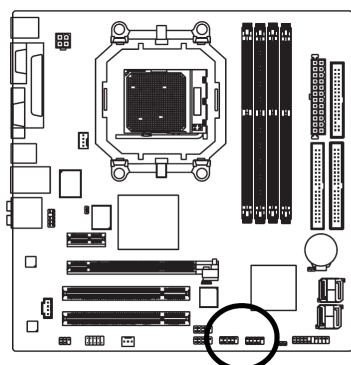
	HD オーディオ:		AC97 オーディオ:	
	ピン番号	定義	ピン番号	定義
	1	MIC2_L	1	MIC
	2	GND	2	GND
	3	MIC2_R	3	MIC 電源
	4	-ACZ_DET	4	NC
	5	LINE2_R	5	ライン出力 (R)
	6	FSENSE1	6	NC
	7	FAUDIO_JD	7	NC
	8	ピンなし	8	ピンなし
	9	LINE2_L	9	ライン出力 (L)
	10	FSENSE2	10	NC



デフォルトでは、オーディオドライバは HD オーディオ対応に設定されています。AC97 フロントオーディオモジュールをこのコネクタに接続するには、79 ページのソフトウェア設定を参照ください。

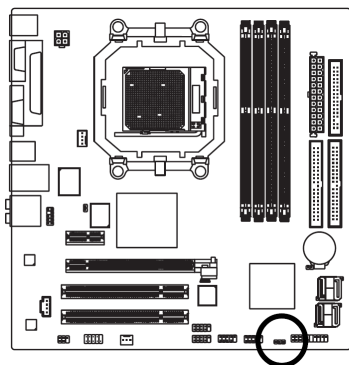
11) F_USB1 / F_USB2 (フロント USB コネクタ)

フロント USB コネクタの極性にご注意ください。フロント USB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備のフロント USB ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。

	ピン番号		定義
	1	2	電源(5V)
	3	4	電源(5V)
	5	6	USB DX-
	7	8	USB Dy-
	9	10	USB DX+
			USB Dy+
			GND
			GND
			ピンなし
			NC

12) POWER_LED

PWR_LED コネクタはシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。
システムがサスペンドモードになると点滅します。

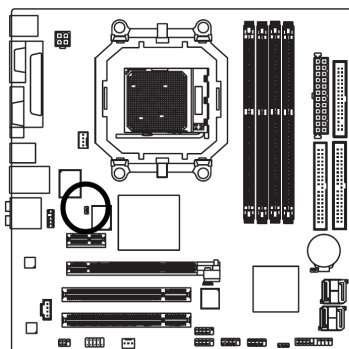


1

ピン番号	定義
1	MPD+
2	MPD-
3	MPD-

13) CI (ケース侵入、ケース開放)

この2ピンコネクタにより、ケースカバーの開放が検知可能です。BIOS セットアップから“ケース開放”の状態をチェックを付けてください。

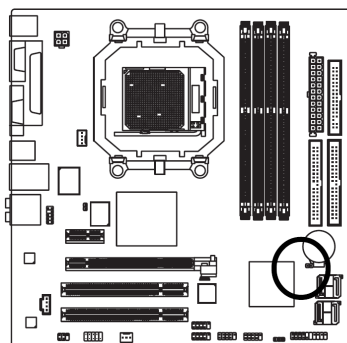


1

ピン番号	定義
1	信号
2	GND

14) CLR_CMOS (CMOS クリア)

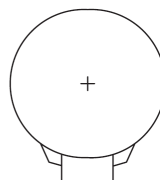
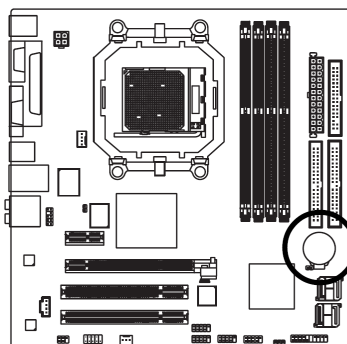
このヘッダにより、CMOS データをクリアしてデフォルト値に復元できます。CMOS のクリアには一時的に2つのピンをショートさせます。デフォルトではこのヘッダの不適切な使用を防ぐために、ジャンパはありません。



□ □ オープン: 通常

■ ■ ショート: CMOS クリア

15) BATTERY



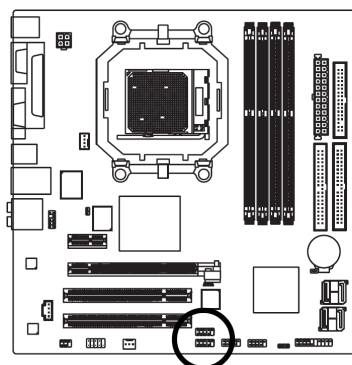
- ❖ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ❖ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

CMOS 内容を消去するには...

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. 電池を静かに外し、1分ほど放置します (または電池ホルダーの正・負極端子を金属片で5秒間ほどショートさせます)。
3. バッテリーを入れなおします。
4. 電源コードのプラグを差し、コンピュータをオンにします。

16) F1_1394 / F2_1394 (IEEE 1394 コネクタ)

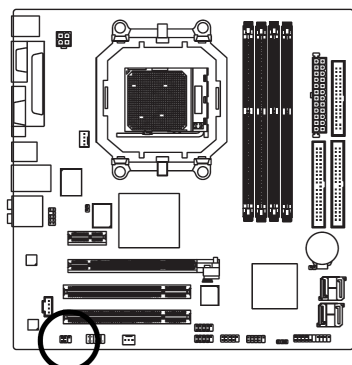
電気電子学会で制定されたシリアルインタフェース規格で、高速転送、広帯域、およびホットプラグを特徴としています。IEEE1394 コネクタの極性にご注意ください。IEEE1394 ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の IEEE1394 ケーブルのお求めにはトルの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	TPA+
2	TPA-
3	GND
4	GND
5	TPB+
6	TPB-
7	電源(12V)
8	電源(12V)
9	ピンなし
10	GND

17) SPDIF_IO (SPDIF 入/出力)

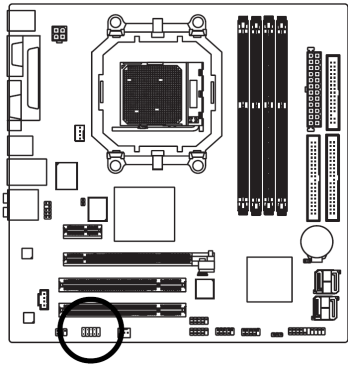
SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、AC3 圧縮データを外部ドルビーデジタルデコーダーに出力できます。この機能はお持ちのステレオ装置がデジタル入力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF 入力機能はご使用の装置がデジタル出力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF_IO コネクタの極性にご注意ください。SPDIF ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の SPDIF ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源
2	ピンなし
3	SPDIF
4	SPDIF
5	GND
6	GND

18) COMB (COMB コネクタ)

COMB コネクタの極性にご注意ください。COMB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の COMB ケーブルのお求めにはお近くの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	NDCDB-
2	NSINB
3	NSOUTB
4	NDTRB-
5	GND
6	NDSRB-
7	NRTSB-
8	NCTSB-
9	NRIB-
10	ピンなし

日本語

日本語

[illegible]

日本語

[illegible]

日本語

[illegible]



Contact Us

- **Taiwan (Headquarters)**

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.

Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien,
Taipei 231, Taiwan

TEL: +886-2-8912-4888

FAX: +886-2-8912-4003

Tech. and Non-Tech. Support (Sales/Marketing) :

<http://gigs.gigabyte.com.tw>

WEB address (English): <http://www.gigabyte.com.tw>

WEB address (Chinese): <http://www.gigabyte.tw>

- **U.S.A.**

G.B.T. INC.

TEL: +1-626-854-9338

FAX: +1-626-854-9339

Tech. Support:

<http://rma.gigabyte-usa.com>

Web address: <http://www.gigabyte.us>

- **Mexico**

G.B.T Inc (USA)

Tel: +1-626-854-9338 x 215 (Soporte de habla hispano)

FAX: +1-626-854-9339

Correo: soporte@gigabyte-usa.com

Tech. Support:

<http://rma.gigabyte-usa.com>

Web address: <http://www.gigabyte-latam.com>

- **Japan**

NIPPON GIGA-BYTE CORPORATION

WEB address : <http://www.gigabyte.co.jp>

- **Singapore**

GIGA-BYTE SINGAPORE PTE. LTD.

WEB address : <http://www.gigabyte.com.sg>

- **China**

NINGBO G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.

WEB address : <http://www.gigabyte.cn>

- **Shanghai**

TEL: +86-21-63410999

FAX: +86-21-63410100

- **Beijing**

TEL: +86-10-62102838

FAX: +86-10-62102848

- **Wuhan**

TEL: +86-27-87851061

FAX: +86-27-87851330

- **GuangZhou**

TEL: +86-20-87540700

FAX: +86-20-87544306 ext. 333

- **Chengdu**

TEL: +86-28-85236930

FAX: +86-28-85256822 ext. 814

- **Xian**

TEL: +86-29-85531943

FAX: +86-29-85539821

- **Shenyang**

TEL: +86-24-83992901

FAX: +86-24-83992909

- **India**

GIGABYTE TECHNOLOGY (INDIA) LIMITED

WEB address : <http://www.gigabyte.in>

- **Australia**

GIGABYTE TECHNOLOGY PTY. LTD.

WEB address : <http://www.gigabyte.com.au>

日本語

- **Germany**

G.B.T. TECHNOLOGY TRADING GMBH

WEB address : <http://www.gigabyte.de>

- **U.K.**

G.B.T. TECH. CO., LTD.

WEB address : <http://www.giga-byte.co.uk>

- **The Netherlands**

GIGA-BYTE TECHNOLOGY B.V.

WEB address : <http://www.giga-byte.nl>

- **France**

GIGABYTE TECHNOLOGY FRANCE

WEB address : <http://www.gigabyte.fr>

- **Italy**

WEB address : <http://www.giga-byte.it>

- **Spain**

GIGA-BYTE SPAIN

WEB address : <http://www.giga-byte.es>

- **Czech Republic**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in CZECH REPUBLIC

WEB address : <http://www.gigabyte.cz>

- **Turkey**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in TURKEY

WEB address : <http://www.gigabyte.com.tr>

- **Russia**

Moscow Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.

WEB address : <http://www.gigabyte.ru>

- **Latvia**

GIGA-BYTE Latvia

WEB address : <http://www.gigabyte.com.lv>

- **Poland**

Office of GIGA-BYTE TECHNOLOGY Co., Ltd. in POLAND

WEB address : <http://www.gigabyte.pl>

- **Ukraine**

WEB address : <http://www.gigabyte.kiev.ua>

- **Romania**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in Romania

WEB address : <http://www.gigabyte.com.ro>

- **Serbia & Montenegro**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in SERBIA & MONTENEGRO

WEB address : <http://www.gigabyte.co.yu>

- **GIGABYTE Global Service System**



To submit a technical or non-technical (Sales/Marketing) question, please link to :

<http://ggts.gigabyte.com.tw>

Then select your language to enter the system.